

谷口 正昭 TANIGUCHI Masaaki

たにぐち まさあき

職位	専任教授
取得学位	修士(教育学)(平成8年9月)早稲田大学
最終学歴	上智大学文学部教育学科卒業 早稲田大学大学院教育学研究科国語教育専攻修士課程修了
専門分野	日本語教育学
主な担当科目	日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ、日本語Ⅳ、日本語ⅢA、日本語ⅢB、ビジネス日本語、日本事情B
研究テーマ	・日本語教育法 ・教材開発
所属学会	日本語教育学会、日本語学会

教育・研究内容

留学生が本学入学前に身につけた基礎的な日本語力を更に発展させ、大学生活に必要な上級レベルの日本語運用力を養成することを目標とする。「読解教材」を精読するスタイルの授業の中で、中上級文型、語彙、漢字等を確実に習得させると共に、能力的に余裕のある学生に対しては、より高度な内容を有する教材を与え、高い日本語力が獲得できるよう、支援を行う。

また、読解力、思考力、鑑賞力の養成を目指した新たな「留学生向け読解教材」の作成を行うとともに、更に上質の「日本語教育プログラム」が提供できるよう、より良い「カリキュラム」の開発を念頭に入れた研究活動を行いたいと考えている。

科学研究費補助金による研究課題：

基盤研究(C)平成27年度～29年度(研究課題番号:15K02663 研究代表者:谷口正昭)

「対話を通じた第二言語ライティング能力の育成」

基盤研究(C)平成24年度～26年度(研究課題番号:21520589 研究代表者:谷口正昭)

「帰国児童のためのリテラシー教育」

基盤研究(C)平成21年度～23年度(研究課題番号:21520552 研究代表者:谷口正昭)

「留学生を対象とした日本語ライティングセンターの設立をめざす基礎研究」

著書

1	国際学友会日本語学校編『進学する人のための日本語初級』(共著)	平成6年11月	国際学友会日本語学校 (現、独立行政法人日本学生支援機構)編
2	国際学友会日本語学校編『進学する人のための日本語中級 練習帳1』(共著)	平成12年6月	国際学友会日本語学校 (現、独立行政法人日本学生支援機構)編
3	国際学友会日本語学校編『進学する人のための日本語中級 練習帳2』(共著)	平成12年6月	国際学友会日本語学校 (現、独立行政法人日本学生支援機構)編
4	静岡産業大学情報学部『まなびのとびら』編集委員会編『まなびのとびら』(共著)	平成25年3月	羽衣出版
5	『グローバル化時代の外国語教育学研究』(共著)	平成26年5月	株式会社 MAYA consortium

学術論文

1	『進学する人のための日本語初級』作成報告(共著)	平成6年5月	『国際学友会紀要』第16・17号
2	高専日本語特別講座「新聞コンクール」実施報告(共著)	平成10年7月	『国際学友会紀要』第21号
3	中国赴日本国留学生予備学校「博士班」における日本語教育	平成10年7月	『国際学友会紀要』第21号
4	『進学する人のための日本語 中、上級用読解教材』2004年度作成報告(共著)	平成17年6月	『東京日本語教育センター紀要』第1号
5	マレーシア・マラヤ大学予備教育部日本留学特別コースにおける日本語教育	平成18年6月	『東京日本語教育センター紀要』第2号
6	『進学する人のための日本語 中上級読解教材』作成報告(共著)	平成19年6月	『東京日本語教育センター紀要』第3号
7	福州第一中学校出身の中国人留学生に対する日本語補習の試み ーeラーニングプログラム及びバディ・システムを利用してー(共著)	平成21年3月	『静岡産業大学情報学部研究紀要』第11号

8	外国人留学生に対する「日本語プレースメントテスト」の作成	平成22年3月	『静岡産業大学情報学部研究紀要』第12号
9	日本語リテラシー研究センター設立の経緯と「個別支援」の現状(共著)	平成24年3月	『静岡産業大学情報学部研究紀要』第14号
10	留学生を対象としたライティングセンターの設立に向けたニーズ調査	平成27年3月	『静岡産業大学情報学部研究紀要』第17号
11	帰国子女教育パイオニア校における初等英語教育史 －60～80年代に焦点を当てて－(共著)	平成28年3月	『静岡産業大学情報学部研究紀要』第18号
12	Difficulties with Academic Writing－Perspectives from International Students (日本語アカデミックライティングにおける課題－留学生の視点から)(共著)	平成31年3月	『静岡産業大学情報学部研究紀要』第21号
13	三島由紀夫の語彙の再評価(査読付)	令和2年11月	久留米大学・カイロ大学文学部 日本語・文学科『比較文化研究』第五十六輯

学会発表

1	『進学する人のための日本語初級』の紹介と解説(共同)	平成7年4月	日本語教育学会研究発表会 (於国際学友会日本語学校学生ホール)
2	日本語教育の現状と日本語評価の実際	平成12年12月	全国未華留學工作學術検討会 (於南京師範大学)
3	留学生を対象とした日本語ライティングセンターの設立に向けたニーズ調査(共同)	平成22年7月	日本語プロフィシェンシー研究会 国際シンポジウム(於函館国際ホテル)
4	日本語ライティングセンターの設立に向けたニーズ調査(共同)	平成22年9月	言語教育評価共同研究所「第2回言語教育 評価フォーラム」(於桜美林大学)
5	『添削』を行わないライティング指導は可能か:米国ライティングセンターにおける プロセス重視の指導(共同)	平成23年8月	第8回国際OPIシンポジウム (於オレゴン州立大学)
6	Literacy Retention in Japanese Bilingual Children (日本人バイリンガル児童におけるリテラシー保持)(共同)	平成27年8月	JALT2015(全国語学教育学会)第41回 国際年次大会(於静岡グランシップ)
7	Establishing Writing Centers for L2 Learners (第二言語学習者のためのライティングセンター設立)	平成27年8月	JALT2015(全国語学教育学会)第41回 国際年次大会(於静岡グランシップ)
8	Difficulties with Academic Writing－Perspectives from International Students (日本語アカデミックライティングにおける課題－留学生の視点から)(共同)	平成30年9月	The 15th International Conference on Japanese Language Education in Malaysia 第15回マレーシア日本語教育国際研究 発表会(於マラヤ大学)
9	『対話』を重視した日本語アカデミックライティングの指導における課題 －非漢字圏出身の留学生の視点から(共同)	平成30年12月	The 4th Angkor Wat International Conference on Japanese Language Education 第4回アンコールワット国際日本語教育 セミナー(於カンボジアメコン大学)
10	Feedback in Second Language Writing Using SNS(共同) (SNSを用いた第二言語ライティングにおけるフィードバック)	令和元年10月	The 16th International Conference on Japanese Language Education in Malaysia 第16回マレーシア日本語教育国際研究 発表会(於マラヤ大学)
11	Reevaluation of the Vocabularies in Yukio Mishima's Works (三島由紀夫の語彙の再評価)	令和2年3月	The 2nd International Symposium: Reevaluation of the Modernization of Non-Western Societies: The Case of Egypt "Arab" and Japan "East Asia" Model 第2回国際シンポジウム「非西欧社会の近代 化再考:エジプト(アラブ)と日本(東アジア)の 場合」(於カイロ大学)

報告書

1	文部省指定研究委託日本語教育機関教育実態調査－日本の高等教育機関に進学 を希望する外国人学生に対する適正な日本語教育カリキュラムに関する研究－	平成元年3月	全国日本語教育機関振興協会
---	--	--------	---------------

受賞

1	第47回国際書道連盟展入賞「秀作」	平成30年8月
2	第48回国際書道連盟展入賞「準特選」	令和元年8月

その他(社会活動等)

1	昭和63年4月	全国日本語教育機関振興協会日本語教育専門委員会委員(平成元年3月まで)
2	平成19年4月	藤枝市社会教育委員(平成22年3月まで)